

飛鳥スマイルキッズ  
—よりよい飛鳥のために—

奈良市立飛鳥小学校 阿彌 茉央

### 1. 単元名

飛鳥スマイルキッズ—よりよい飛鳥のために—

### 2. 単元の指導目標

- ・地域のために活動する人の話を聞いたり、実際に地域のために活動したりすることを通して、よりよい地域であることはみんなの願いであることや、自らがこれからの地域の担い手であることを理解している。(知識・技能)
- ・地域のためにどのようなことができるか話し合ったり、活動の内容を考え行動したりすることを通して、よりよい地域のためにどんなことができるか考え表現する。(思考・判断・表現)
- ・住みよい地域のためにどうすればよいか考え、積極的に行動し、地域を大切にしていこうとする意欲をもつ。(主体的に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### ○教材について

児童は6年間、地域の方に支えられ、助けられて小学校生活を送ってきた。例えば、学習ボランティア、放課後子ども教室、お話の会など、児童の周りにはたくさんのボランティアの方がいる。しかし、これまでそのような地域ボランティアの方に目を向けることはなく、その方たちの思いや活動内容はほとんど知らない。

「飛鳥スマイルキッズ」とは、今までお世話になった地域の方々を笑顔にするための活動である。6年間の学習の終わりに、地域ボランティアの方々の様々な活動内容を知り、実際に自分たちがどんなことができるかを考え、行動することで、地域ボランティアの方の地域への思いに近づき、地域の方々に支えられてこれまで学校生活を送ってきたことや、自らが地域の一員であることに気づくことができる。さらに、よりよい「飛鳥」のためには、地域の人々に感謝の気持ちを持ち、自らも行動する責任があることを理解し、すばらしい地域を大切にしていこうとする意欲をもたせることができる教材である。

本単元につなげるために、前単元で「奈良町の町名調べ」を学習した。本校の校区は、奈良町の一部を含んでおり、奈良町の町名には、さまざまな謂れや由来がある。本校の「飛鳥」という学校名にも、奈良町と同じように由来がある。町名や地名を調べることによって、児童は、その意味や歴史の深さに気づき、「飛鳥」や「奈良」に誇りをもつことができた。また、そんなすばらしい地域のために、地域の人を笑顔にする活動がしたいという意欲をもたせることができている。そのため、本単元では、その気持ちを行動に表す活動を行っていききたい。

#### ○児童について

本学年の児童は、1年生から5年生までの世界遺産学習で、身近な飛鳥地域の魅力やすばらしさについて学んできた。5年生では、総合「なら」科の学習で、薬師寺・唐招提寺・東大寺等の世界遺産見学に行き、奈良の世界遺産の素晴らしさについて学んだ。また、校区にある世界遺産として春日山原始林について学習し、春日山原始林の魅力と現在の問題について知り、これから自分たちにできることを考えた。このように気づいた自分たちの地域のよさを同じユネスコスクールである彦根市立城北小学校に伝える活動を行った。

また、6年生では、奈良町の町名調べをした。そこでは、これまでの学習をふりかえり、町名について知るなかで、飛鳥や奈良の魅力に改めて気づき、さらに飛鳥や奈良を大切にしていきたいという気持ちをもたせることができた。

以上のようにこれまでの学習では、飛鳥や奈良の魅力について学んだ。しかし、飛鳥や奈良を大切にしたいという気持ちはあっても、実際に地域のために何かを発信したり、地域の方と積極的に関わったりする活動は行っておらず、そのような経験をもつ児童は少ない。また、自らがこれからの地域の担い手であることを自覚する児童はほとんどいない。

## ○指導について

まず、国語科「町の幸福論」（東京書籍）をふりかえり、「町の幸福」を生み出すためには何が必要かを考える。「町の幸福論」では、住民たちが主体的に町作りに取り組むことや、未来のイメージをもつコミュニティデザインが必要であること、一人一人が町の未来をえがき、主体的に町作りに取り組むことで「町の幸福」が生み出されることが書かれている。児童一人一人が地域の住民であり、「町の幸福」を生み出す主体であることに気づかせたい。

次に、地域ボランティアの活動について知る。学習ボランティア、放課後子ども教室、お話の会など、自分たちを支えてくださる地域ボランティアの方の存在に改めて気づくことで、自分たちも地域のために活動しようという意欲をもたせることができるだろう。

そこで、「飛鳥」や「奈良」のためにどのようなことができるかを考えさせる。今までの総合「なら」科の学習で知った世界遺産のすばらしさを広めることや、地域のために町をきれいにすること、今もお世話になっている地域の方に笑顔になってもらえることなど、どんなことがしたいかを考えさせる。そして、その意見ごとにグループに分かれ、具体的な行動の計画をたてる。例えば、観光コースでは、外国人観光客向けにガイドブックを作成し配布したり、環境コースでは公園や道のごみを拾ったり、スマイルコースでは、幼稚園に行き絵本の読み聞かせを行ったりするなど、自分たちの目的に合った具体的な活動の計画を立てさせるようにしたい。その後活動する。活動の前には、あいさつや活動に向かう姿勢も確認する。

活動が終了した後、活動してわかったこと・感じたことを話し合う。観光コースでは、世界遺産について伝えるためには、自分たちがその良さを知らないといけないこと、環境コースでは、ごみを無くすためには一人一人が気をつけないといけないこと、スマイルコースでは、地域の方の笑顔や「ありがとう。」の言葉がうれしかったことなど、実際に活動を行ってわかったことや、感じたことを率直に出させたい。そして、ゲストティーチャーの方がどのような思いでボランティアに取り組んでいるか、どんな気持ちかなど、お話を聞かせていただく。ボランティア活動を行った後の児童は、よりボランティアの方の思いに近づくことができるだろう。そして、よりよい「飛鳥」のために大事なものは何かを考える。自分自身が地域のよさを知ることや、自分たちのために活動してくださる地域の方に「感謝」の気持ちをもつこと、自分たちが行動することなど、ボランティアの方のお話を聞いたことで、大事なものは何かをより具体的に考えることを期待したい。

最後に、中学校に向けてこれからの「飛鳥」のために自分たちにはどんなことができるかを考える。中学校に向けて、「飛鳥」という地域の一員として地域に対してどのような思いをもち、地域とどのように関わっていききたいのか考えさせたい。

## 4. ESD・SDGsの視点

○学習を通して主に養いたいESDの視点

Ⅱ 相互性…住みよい地域とは、様々な人々が互いに支え合っており、安心できるあたたかい地域である。

Ⅳ 公平性…住みよい飛鳥（奈良）であり続けることは、ここに住むみんなの願いである。

VI 責任性…持続可能な地域の創り手は自分たち自身である。

○学習を通して主に養いたい ESD の資質・能力

③長期的思考力

飛鳥や奈良のよさを守り繋いでいくために、30年、50年、100年先のことを考えて今、行動することが大切である。

④コミュニケーションを行う力

友だちと協力しながら地域に対して積極的に働きかけたりする。

○ESD で育てたい価値観

①世代間の公正

住みよい飛鳥(奈良)であり続けるためには、今から自分たちが行動を起こすことが大切である。

○SDGs のどれに貢献できるか。

目標 11 住み続けられるまちづくりを

## 5. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 学習への主体的な態度
<p>①よりよい地域であることは、地域の人々の願いであることを理解している。</p> <p>②自らが地域社会の一員であり、これからの地域のために、地域の人々に感謝の気持ちをもち自ら行動する責任があることを理解している。</p>	<p>①「飛鳥」や「奈良」の人々を笑顔にするためには、どんなことができるかを考え、適切に表現している。</p> <p>②ボランティア活動やゲストティーチャーの話から、よりよい「飛鳥」のためには、地域に感謝の気持ちをもち、自らが行動することが大切であると考え、適切に表現している。</p>	<p>①どうすれば「飛鳥」の人々が笑顔になるかを考えて活動を計画し、人々と関わり合い工夫しながら意欲的に活動に取り組んでいる。</p> <p>②よりよい「飛鳥」のためには、地域に感謝し、自ら行動していくことが大事だと気づき、すばらしい地域を大切にしていこうとする態度を表している。</p>

## 6. 単元の指導計画（全 22 時間）

次	主な学習活動	指導上の留意点(・)と評価(△)
1	<p>○地域の方は飛鳥のためにどんなことをしているのだろうか？</p> <p>・「町の幸福」を生み出すためには何が必要かを思い出す。①</p> <p>・地域のボランティアの方はどのような活動をされているかを知る。②</p>	<p>・国語科「町の幸福論」で学習したことを思い出させる。</p> <p>・自分たちの身近なところでボランティアの方が活動してくださっていることに気づかせる。</p> <p style="text-align: right;">△ア1</p>

2	<p>○「奈良」や「飛鳥」のためにどんなことができるだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「奈良」や「飛鳥」のためにできることを考え、話し合う。③④</li> <li>・グループごとに計画をたてる。⑤⑥⑦⑧⑨⑩</li> <li>・グループごとに実行する。⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にできることを具体的に考えさせる。</li> <li>・考えた取り組みごとにグループになり、計画をたてさせる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">△イ1、ウ1</p>
3	<p>○活動してどのようなことに気づき、感じただろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに活動してわかったことや、感じたことの振り返りをする。⑲</li> <li>・ゲストティーチャーの話を聞いた上で、よりよい「飛鳥」のために大事なものは何か考え、話し合う。⑳・・・本時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域はさまざまな人によって支えられていることに気づかせる。</li> <li>・よりよい「飛鳥」のために大事なものを具体的に考えさせる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">△ア1、ア2、イ2</p>
4	<p>○これからの「飛鳥」のために自分たちにはどんなことができるだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を踏まえてこれからの「飛鳥」のために自分たちにできることを考え、話し合う。</li> </ul> <p>㉑㉒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への思いを確認させる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">△ウ2</p>